

愛媛県宇和海北部沿岸から得られたイナカウミヘビ

清水孝昭¹・榎 浩樹¹¹愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Ophichthus asakusae* イナカウミヘビ (TKPM-P 24157)

種の記録

Ophichthidae ウミヘビ科

Ophichthus asakusae Jordan and Snyder, 1901

イナカウミヘビ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P) 24157, 全長(TL)564.0mm, 24158, 488.3mm TL, 2025年4月28日, 愛媛県宇和島市嘉島北部~戸島北部, 水深75m. 24159, 725.3mm TL, 24160, 429.3mm TL, 2025年5月8日, 愛媛県西予市三瓶町 大崎鼻沖, 水深78m. いずれも延縄.

種の特徴

体は円筒形で細長い。吻端はやや鈍い。眼は口裂の中央付近に位置する。後鼻孔は上唇の縁辺に開口し、前方に短い乳頭状突起がある。歯は鋭く主上顎骨歯は1列。尾鰭はなく、尾端は尖る。尾部後端にシワ状の構造がある。背鰭起部は胸鰭先端の直上より前方に位置する。肛門前方長は全長の43.4-45.2%, 胸鰭長は頭長の24.2-26.4%。体は黄褐色で、腹部は白色。生時頭部前方は黄色味を帯びる。

備考

採集個体の上記特徴は角田・町田(2000)および波戸岡(2013)のイナカウミヘビに一致するため、本種と同定した。日本において本種は新潟県佐渡, 相模湾, 和歌山県, 土佐湾, 愛媛県八幡浜および東シナ

海大陸棚域から記録されており(波戸岡, 2013), 愛媛県産の標本としては八幡浜市大島周辺で1981年に得られた個体が大阪市立自然史博物館に保管されている(OMNH-P 29482:サイエンスミュージアムネット, <http://science-net.kahaku.go.jp/>, 2025年5月11日参照)。本報告は愛媛県宇和島市と西予市からの標本に基づく初記録であり、宇和海北部からの追加記録となる。

謝辞

標本を採集していただいた宮本伊貴氏ならびに宇都宮裕也氏に感謝の意を表す。

引用文献

- 波戸岡清峰. 2013. ウミヘビ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 266-277, 1794-1802.
- 角田慎一郎・町田吉彦. 2000. 土佐湾産ウミヘビ科ウミヘビ属魚類 2種の再検討とニシキウミヘビについて. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, 20:51-69.
- (2025年5月29日受付, 2025年5月30日公開)

清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu and Hiroki Maki. 2025. Additional record of *Ophichthus asakusae* (Ophichthidae) from northern Uwa Sea, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 25011)